種子島の医療を救うために

種子島高校２年　医療班
伊豆元優寿
中村花菜
前沢巴菜
山田楓

≪種子島の医療施設≫

種子島医療センター
百合砂診療所
公立種子島病院
種子島産婦人科
せいざん病院

	病床	医師	看護師	診療科
ゆりさ診療所	０	１		４
公立種子島病院	６２	３	３８	９
種子島産婦人科	３４	２	１３	１
せいざん病院	１３０	―	―	３

≪アンケート調査≫

①新型コロナウイルスが流行する前と現在での医療体制における相違点

②医療体制における問題点や課題

③その問題点や課題に対して行っていること

①新型コロナウイルスが流行す

- 面会が自由にできない。（オンライン面会）
- 入院前にPCR検査を受けないといけない。
- 発熱外来ができた。
- 一般病床の縮小。
- 診療期間の延長。
- 医療チームスタッフの編成。
- 勤務体制の変化

②医療体制における問題点や課題

・看護師への負担が大きい。
・病床不足により、緊急患者の受け入れ調整が難しい。
・面会制限により、家族が患者の状態を把握できない。
・若い人の人員不足
・患者の看護ケアができていない。

③その問題点や課題に対して行っていること

- 一個人へ負担がかからないようにしている
- ベッドコントロール
- オンライン面会
- 勤務移動による人員確保
- 発熱外来トリアージ

人員不足が課題と
なっている！！
（おもに看護師や
若い人）

県内の離島の医療体制について

病院名	病床数	医者人数	看護師数	診療科目	人口
種子島医療センター	５６５	４７	２５７	２６	約２万７千人
医療法人徳洲会 屋久島徳洲会病院	１４０	１１．１	６３．９	１５	約１万３千人
医療法人徳洲会 喜界徳洲会病院	８９	３	５０	１４	約６７００人
鹿児島県立 大島病院	３５０	４３	２２４	１９	約５７００人
医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院	１９９	16.9	101	２８	約２万２千人

【離島の医師・看護師確保対策】

・医師就学資金の貸与（鹿児島大学医学部医学科に合格した人18人を対象に９年間の間へき地医療機関などで働いてもらう代わりに６年間９４０万円を一人当たり貸与するというもの）

・離島，へき地医療実習（地域枠医学生の離島医療などへの理解を深めるとともに，医学的知識や技術等の習得を支援するため，離島やへき地で医療実習を行っている）

・離島，へき地医療視察支援（鹿児島県での勤務を希望する医師を対象）

・ドクターバンクの運営（県外在住医師の県内医療機関へのあっせんや女性医師の復興支援などを行うためのサイト）

・ナースセンター事業（働き続けられる職場作りや離職した助産師，看護師の再就職支援のための研修会等の開催）

【私たちが考える対策】

ご清聴ありがとうございました！